

ルクセンブルク経済・金融情勢（２０１４年８月後半）

１．経済

- RTL社、２０１４年上半期の収益は２，６８０百万ユーロ（前年同期は２，７５０百万ユーロ）、純利益は２０２百万ユーロ（前年同期は４１８百万ユーロ）。純利益が前年同期比で約半減したことを踏まえ、同社は２０１４年全体の収益等の見通しを下方修正。（２２日付ル・コティディアン紙）
- ２０１４年７月の失業率は７．３％（前月は７．２％、前年同月は７．０％）。（２５日付統計局プレスリリース）
- ２０１４年８月の消費者信頼感指数は▲７（前月は▲３）で、前月より明らかな後退を示した。（２８日付中央銀行プレスリリース）

２．金融

- 国際銀行間通信協会(SWIFT)の発表によると、ルクセンブルクにおける人民元による決済額が２０１３年７月から２０１４年７月にかけて４１．９％増加。ルクセンブルクはＥＵでは英、仏、独に続き人民元による決済が多く行われている。（２６日付ペーパージャム誌電子版）
- KBLヨーロッパ・プライベートバンカーズ、２０１４年上半期の純利益は５０百万ユーロ（前年同期比＋１９％）。（２８日付ル・コティディアン紙）
- BGL BNPパリバ、２０１４年上半期の純利益は１７６百万ユーロで、前年同期と比べて３５．１百万ユーロ減少。リース事業の不調が原因。（２９日付ル・コティディアン紙）

３．政府

- シュナイダー経済相、トルコのイズミルを２９日に訪問。同国の産業副大臣と会談し、イズミル国際展示会の除幕式に参加。（９月１日付経済省コミュニケ）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。